

m分野	専門分野Ⅰ －基礎看護学－	対象学年	1
		時期	前期～後期
授業科目	基礎看護技術統合 (技術試験) Integrtrion Skills of basic Nursing	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>共通基本技術Ⅱと日常生活援助技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、診断・治療に伴う援助技術Ⅰの授業科目で学んだ知識と技術を統合し、基本的な援助技術の習得ができてきているかを確認する。技術試験を実施する際、対象設定はないが、それぞれの援助における原理原則をふまえ、対象にとって安全安楽であり、援助の目的が達成できるような技術の習得を目指す。</p> <p>技術習得においては、対象にとってどのような方法が望ましいか、研究的な視点で練習を重ねる必要がある。互いの意見を尊重し、最適な方法を考え実践していくことで対象にとってよりよい援助の提供をできるようにする。技術習得のために主体的に練習に取り組む姿勢を養っていく。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>バイタルサイン測定の基礎的技術を習得する。</li> <li>フィジカルアセスメントの基礎的技術を習得する。</li> <li>基礎的環境調整技術を習得する。</li> <li>基礎的活動・休息援助技術を習得する。</li> <li>基礎的清潔・衣生活援助技術を習得する。</li> <li>基礎的食事援助技術を習得する。</li> <li>基礎的排泄援助技術を習得する。</li> <li>感染予防のための基礎的技術を習得する。</li> <li>対象の尊厳に配慮する姿勢を養う。</li> <li>わからないことを自ら考え、調べる姿勢を養う。</li> <li>技術習得のために主体的に取り組む姿勢を養う。</li> </ol>		
評価方法	<p>各技術試験は100点満点で採点します。その後、下記割合で換算して科目成績とする。</p> <p>【共通基本技術Ⅱバイタルサイン測定・日常生活援助技術Ⅰ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイタルサイン測定と「日常生活援助技術Ⅰ」は組み合わせて技術試験を行います。各100点満点で採点をし、その平均値から26%に換算した点数が科目評価につながります。</li> </ul> <p>【共通基本技術Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>100点満点で採点をし、その点数から7%に換算した点数が科目評価となる。</li> </ul> <p>【日常生活援助技術Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各100点満点で採点をし、その平均値から47%に換算した点数が科目評価となる。</li> </ul> <p>【日常生活援助技術Ⅲ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各100点満点で採点をし、その平均値から13%に換算した点数が科目評価となる。</li> </ul> <p>【診断・治療に伴う援助技術Ⅰ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>100点満点で採点をし、その点数から7%に換算した点数が科目評価となる。</li> </ul>		
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p>		
参考図書	<p>根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院</p>		
メッセージ	<p>【共通基本技術Ⅱ】</p> <p>バイタルサイン測定も、フィジカルアセスメントも対象理解のためには必要な観察技術です。技術の実践が習得されるまで繰り返し練習をしましょう。</p> <p>【日常生活援助技術Ⅰ】</p> <p>原理原則に基づいて技術の基本を習得しましょう。安全・安楽においても十分留意しましょう。</p> <p>【日常生活援助技術Ⅱ】</p> <p>清潔の技術は臨床でも実践機会が大変多いです。湯温の管理やタオルの扱いなど基本的なことが身に付くまで十分に練習しましょう。</p>		

	<p>【日常生活援助技術Ⅲ】 食事介助・おむつ交換は実習でも学習する頻度が高い援助の一つです。技術の原理原則をしっかり習得しましょう。</p> <p>【診断・治療に伴う援助技術Ⅰ】 感染予防具の装着や無菌操作など感染予防に関する技術の習得です。対象者だけでなく、自分の身を守る大切な技術ですのでしっかり学習してください。</p>
--	--

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	I 共通基本技術Ⅱ・日常生活援助技術Ⅰ技術統合 1.バイタルサイン測定	バイタルサイン測定の技術が習得できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイタルサイン測定</li> <li>臥床患者のリネン交換と生活環境調整</li> <li>体位変換、安楽な体位の保持</li> <li>車椅子の移乗・移送</li> </ul>	試験	
2	2.臥床患者のシーツ交換と体位変換①	臥床患者のシーツ交換と体位変換の技術が習得できる			
3	2. 臥床患者のシーツ交換と体位変換②				
4	3. 車椅子移乗・移送	車椅子の移乗・移送の技術を習得できる			
5	Ⅱ 共通基本技術Ⅱ技術統合 1.フィジカルアセスメント	視診・聴診・打診・触診の基本的な方法を習得し、呼吸器・腹部のアセスメントができることを確認する		<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸器に関する問診と聴診</li> <li>腹部に関する問診と腹部の観察（視診・触診・聴診・打診）</li> </ul>	試験
6	Ⅲ 日常生活援助技術Ⅱ技術統合 1.部分浴①	部分浴（足浴）の技術を習得できる	部分浴（足浴）	試験	
7	2.部分浴②				
8	3.洗髪①				
9	4.洗髪②	洗髪の技術を習得できる	洗髪	試験	
10	5.臥床患者の全身清拭と寝衣交換①	臥床患者の全身清拭と寝衣交換の技術を習得できる	全身清拭、寝衣交換	試験	
11	5.臥床患者の全身清拭と寝衣交換②				
12	5.臥床患者の全身清拭と寝衣交換③				

13	Ⅳ日常生活援助技術Ⅲ 技術統合 1.食事介助	食事介助の技術を習得できる	・食事介助	試験	
14	2.おむつ交換	おむつ交換の技術を習得できる	・おむつ交換	試験	
15	Ⅴ診断・治療に伴う援助技術Ⅰ 技術統合 1.滅菌手袋の装着、無菌操作	無菌操作、滅菌手袋装着の技術を習得できる	・滅菌手袋装着と外し方、無菌操作	試験	